

半透明の買い物袋を ごみ袋(燃やせないごみ)に使用できます

六月一日から、半透明で一定の大きさがある買い物袋であれば、「燃やせないごみ」と「資源ごみ」用に限り、市が指定しているごみ袋と同様に使用できるようになります。注意事項を守ってご利用ください。

指定ごみ袋によるごみの分別収集が始まって、丸一年が経過しました。市内のごみ一時預かり所に置かれるごみ袋は、九割以上が指定のもので占められ、整然と並べられるようになりました。皆さんのご理解とご協力で、ごみの減量化、資源化、ごみ収集の効率化が進んでいます。

しかし一方で、ごみを「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「処理困難ごみ」の五つに分けるという作業を実際に家庭で行ってもらった結果、さまざまな課題も浮かび上がってきました。

皆さんからたくさん寄せられたご意見・ご要望の中で、特に多かったのは「スーパーなどでもらった買い物袋をごみとして出すのはもったいないから、ごみ袋として

使えるようにできないか」ということ。燃やせるごみを出す場合、原則として二重袋は禁止されていることから、買い物袋にいったんごみを入れても、そのままでは指定ごみ袋に入れることができず、買い物袋は買い物袋としてごみに出さなければならぬため、買い物袋を有効利用できないという指摘です。また、現在指定しているごみ袋は、燃やせるごみ用として大と小の二種類、燃やせないごみ用が大が一種類だけの合計三種類ですが、「一人か二人の世帯が増えている現状ではサイズが大きすぎる。中でも燃やせないごみ袋はぜひ規格を増やしてほしい」というご要望も多くありました。

市ではこうした要望を考え合わせ、総合的に検討したうえで、六月一日から、半透明に改良されて

いて、一定の大きさがあることなどの条件を満たした買い物袋であれば、燃やせないごみと資源ごみに限って、ごみ袋に利用できることにしました。

もつともつと進めたい ごみの分別

指定ごみ袋の範囲を一部拡大し、買い物袋をごみ袋として利用できるようにするまでも、実はいくつもの課題がありました。

分別収集が大前提ですから、中が見えない従来の乳白色の買い物袋はそのまま使えないこと、ごみ袋の小型化で収集個数が増え、収集効率が低下する恐れがあること、ごみ一時預かり所が乱雑になると予想されることなどです。さらに、全体的にはかなりごみの出し方がよくなっていますが、地域

差がかなりあり、ごみの出し方の良い町内と悪い町内の格差が広がっている現状も、実施を慎重に考えさせる大きな要因でした。

こうした課題に十分検討を加えて対応を考え、またこの一年の実績から、皆さんにはこれまで以上に分別収集に協力してもらえものとして、六月一日からの買い物袋利用はスタートします。

私たちの生活から切り離せないごみ問題。市ではこれからも皆さんのご意見ご要望に耳を傾けながら、実情に沿ったごみ収集を行っていきます。買い物袋の利用を契機に、皆さんももう一度身の回りのごみについて考えてみてください。そして、徹底したごみの分別ごみの減量に今まで以上のご協力をお願いします。

☆ごみについてのお問い合わせ
環境衛生課(☎42-2169)

利用上の注意

- ☆買い物袋をごみ袋として利用できるのは6年6月1日からです
- ☆買い物袋をごみ袋として利用できるのは「燃やせないごみ」と「資源ごみ」を入れる場合だけに限ります
- ☆ごみ袋として利用できるのは、縦50cm、横30cm以上の大きさの買い物袋に限ります
- ☆半透明の買い物袋に限ります。乳白色の袋は大きさにかかわらず使えません
- ☆原則として、半透明の買い物袋であっても2重袋は禁止します
- ☆買い物袋で出す場合も、住所と氏名は必ず記入してください

○5年度の家庭ごみの量 ()は前年比・単位トン
燃やせるごみ 11,142 (△3,716、△25%)
燃やせないごみと粗大ごみ 2,530 (△1,370、△35%)
合計 13,672 (△5,086、△27%)
※合計のうち約7%が資源ごみです